

DX4015を使用したワイナリーの廃水処理における温室効果ガス研究

南ヨーロッパのワイナリーで実施された研究で、温室効果ガス(GHG)排出削減に向けた、ワイナリーで発生する廃水処理方法の検討にDX4015が用いられました。

研究では、ライフサイクルアセスメントとカーボンフットプリントの観点から、従来の廃水処理方法と自然処理方法の2種を比較し調べる必要がありましたが、今まで現場でGHG排出量の測定にFTIRガス分析装置が使われたことはありませんでした。ですが、DX4015の下記利点により測定を行う事ができました。

- ・ポータブルなので、現場でのモニタリングと分析が容易
- ・専用ソフトウェアによる、結果のわかり易さ
- ・オンサイト分析により、結果の精度の向上

研究グループは、GHG排出量を毎日測定し、季節ごとのデータの変動から廃水処理プラントの負荷による排出量変化をDX4015で測定する事ができました。

